

フジアート



Vol. **44**
2018.01

私とフジアートの人生いろいろ

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご愛顧を賜り、誠に有難うございました。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。



さて新しい一年の始まりです。俳句の世界では、「新年」という季節があり、それに合わせた季語があります。「初詣で」「初日の出」「鏡餅」などなど。にぎやかでおめでたいことばがたくさん並んでいます。ほかの季節と同じくらいの数の季語が「新年」という季節にあるそうです。

一月の二十四節気は、まず五日、「小寒（しょうかん）」から始まります。いわゆる「寒の入り」です。初候「芹（せり）がよく育つ」次候「地中で凍った水が動き始める」、末候「雉（きじ）が鳴き始める」。芹と言うと春の七草の筆頭ですね。「七草粥（ななくさがゆ）」ももちろん新年の季語です。

次に二十日、「大寒（たいかん）」。「一年で最も寒い時期」という意味です。二月が一番寒い現代とは少しズレがあるかもしれません。でも大寒は初候「ふきとうがつぼみを出す」、次候「沢の水が厚く凍る」、末候「鶏が卵を産み始める」と進みます。もうお正月ムードはなくなっていますね。

ちなみに。大寒に入る前の一月十七日は冬の土用の入りです。土用は夏だけでなく、暦の上での季節が変わる前には必ずある「季節」です。冬の土用も、およそ十五日ほどあって、それが過ぎると二月四日は立春。暦の上では春を迎えることになります。

早いもので新年が明けて1月も中旬を過ぎました。お正月休みはゆっくりと休めましたでしょうか。我が家の冬休みも年末の大掃除から始まり、あっという間に過ぎ去りました。

毎年1月に築地のお寿司屋さんに行くのですが、店の前が焼け野原になっていて、びっくりしました。聞くと、もともとラーメン店があり、そこで火事があったとのこと。燃え移らなくて良かったです。そういわれてみれば昨年、テレビのニュースでその寿司屋の店長が火事のインタビューに出ていましたが、まさか向かいの店だったとは思いませんでした。

空気が乾燥していますので、火の元にはお気をつけ下さい。またこの時期は毎年インフルエンザが流行っています。お身体にもどうぞお気をつけ下さい。

末尾となりましたが、本年も皆様のますますのご発展とご健勝を心より祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

代表取締役 渡邊 富士雄



現場の風景



現場監督

岡 俊秀

このコーナーでは印象的な現場の風景をご紹介します

「重ね張りでよい場合」 1月9日 火曜日 天気 晴れ

戸建て洗面所のクッションフロアの工事です。今回は洗面化粧台の脱着がなく、床と化粧台やユニットバス入口の金物との隙間が約5mmくらい開いていたので、既存のクッションフロアを剥がさずに、上からクッションフロアを重ね張りしました。水廻りなので開いているすき間に差し込むことで剥がれ防止にもなり、見た目もきれいになります。2枚重ねたことでクッション性がよくなりました。

バリアフリーにする場合や、凹凸のある（柄が浮き出てくるような）クッションフロアが使われていた場合は既存のクッションフロアを剥がしてから張らなくてはなりません。



施工前



浴室入り口の枠金具の下にすき間



洗面化粧台の下にもすき間



新しいクッションフロアを洗面台下のすき間に入れる



浴室入口の枠金具の下のすき間にも入れる



金具をビス止めするとすき間なく納まる



施工後

帰ってきました!

つぶやき二人三脚



建物診断員

白鳥 勲

あけましておめでとうございます🐾 みなさんお元気ですか？フジアートのフォーです。今回は玄関ドアの調整についてです🎵

築10年以上のお宅で多いのですが、玄関ドアが下枠に当たり始めてはいませんか？

ドア全体を支えている丁番が、ドアの重さでだんだんと下がってきて、ドアが下の枠に当たり始めます。

そこで玄関ドアを引きずって困っていらしたお客様のところで、ドアの調整をおこないました！（調整の一例ですぞ〜）

今回はこの素敵な玄関ドア→



玄関ドアが下枠に当たってこすれキズが...



芯棒側を取り外します



芯棒の高さ調整のネジを下枠に当たらない程度に、少し高めに上げてあげます（丁番3か所を調整）

玄関ドアが大きければ大きいほど、築年数によって先端が垂れてきて下枠に当たるようになってしまいますので、メンテナンスが必要です。もし方法が判らないようでしたら、吾輩に聞いて下され🐾 by フ〜



Happy-Go-Lucky



リフォームアドバイザー
山中 正臣

ここ数年、「AI」という言葉を耳にすることが増えてきましたね。これは「エーアイ」と読み、いわゆる「人工知能」を意味する「Artificial Intelligence」の略語です。

日本での「ありふれた日常」の中にいると、「日本は世界の最先端の国」だという自画自賛を漠然と信じて疑わない方も多いかと思いますが、こと「AI」や、ぼくの携わっている「照明」の分野においては、海外諸国と比べると完全に「周回遅れの国」だという残念な事実を多くの方がきっとご存知ないかと思います。

ほんの一例を挙げると、海外諸国では、自宅のAI（現在はAI内蔵のスピーカーという形態のもの）が、主人（あるじ）のスマートフォンのGPS（位置情報）を認識して、帰宅直前に自動で照明を点けてくれる——なんてことが普通に行われていますし、AIスピーカーに話しかけるだけで家電製品のオンオフはもちろん、買い物だって簡単に済ませることができます。

こういうことは、前提としてAIの権利を保有する企業が対応機器（様々な家電製品やサービスなど）を操作するための言語（プロトコル）を解放（オープンに）しているからこそできることなのですが、日本の大手メーカーの場合にはというと「開発＝自社の独占権」という（島国の特性なのか）視野の狭いスタンスを取ってしまいがちなため、開かれた技術促進が広がらず、スマートフォン普及前の携帯電話よろしく、結局は「ガラパゴス状態」に陥るといのがお決まりの構図なんですね。

A社のエアコンが、A社の室外機と、A社のリモコンでしか機能しない——なんて、日本では「常識」だと思われがちなこと、海外では「驚きの非常識」だったりします。

そんなこんなで、いよいよ興味をお持ちのお客さまへ、夢物語ではないレベルでの「スマートホーム化」の提案を始めています。



温故知新 The knowledge on your side



リフォームアドバイザー
齊家 春美

本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

今年の1月は例年に比べ寒いようですが、みなさんインフルエンザなどにかかっていますか。今年一年を無病息災で過ごせるように体調管理をしっかりしていきたいと思います。

今年最初の話題は文明の利器というか、日進月歩のキッチンをご紹介します。

土間に釜戸の時代から、ガスを使うようになり、置き型のテーブルコンロからビルトインコンロになり、最近は電気のIHコンロも普及してきましたが、ついにIHコンロが食卓の一部になったPanasonicのキッチン「Lクラス」です。テーブルの中央にIHコンロが組み込まれています。対面キッチンはスペースが足りなくて・・・という方も、テーブルを置くスペースが節約出来るので、設置出来る可能性が広がりますね。



その他にも2回ノックするだけで開く食洗機や手をかざすと点灯・消灯・明るさや色味を変える事の出来る三面鏡など、進化しつづける色々な商品に遅れを取らないように情報収集の毎日です。

今年もフジハートから色々な情報を発信出来たらいいなと思っています。よろしくお願いいたします。

日だまり✿ゆるりらいふ

家事がちょっと楽しくラクになる豆知識など、無理せずできる、心地よい生活へのヒントを主婦のつぶやきでお伝えします



スタッフ
阿部 桃子

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今回は年末年始休みの間にスクラッチアートをやってみました。

スクラッチ（ひっかき）とは、あらかじめ下塗りした色の上に違う色を塗り重ねた後、上の色を引っかいて削り取り、下の層の色を出す絵画技法のことです。子供の頃クレヨンの重ね塗りなどやったことがある方が多いのではないのでしょうか？ それと同様のしくみを最新の印刷技術で商品化したシートが多数販売されているので、購入してやってみました♪

黒いシートの上には細かい図柄が白い線で描いてあるので、その線をスクラッチ用のペンでなぞっていきます。（細かい部分は爪楊枝を使用してみました。）黒い部分の下にはカラフルな色やキラキラしたホログラムが隠れているので、下絵通りに削っていただけで色の対比が美しい作品が完成します。線をなぞるだけだからつまらないのかな？と思いましたが、削るとカラフルな色が出てくるのが単純に楽しいですし、黒い面の下にはどこを削っても色が出てくるように着彩されているので、お好みで面や背景部分を削れば下絵が同じでもオリジナル感が出せます。絵心のない私でも上手に描けた気分を味わうことができました。

また100円ショップでは下絵のない黒いシートも販売されていますので、（2シート入り・ペン付き）オリジナルの作品を描いて楽しむこともできます。注意点？としては、削る度に細かい黒い粉ゴミが出ることでしょうか…無心で作業するのが好きな私にはとても良い息抜きとなりました。



編集後記



Thank you for reading.



スタッフ
三角 由香

新しい年を迎え、みなさまお元気でお過ごしでしょうか。フジアートでは年末にホームページをリニューアルしました。まだまだ不足部分があるので、これから徐々に内容を濃くしていき、リフォームやフジアートについて分かりやすく伝えるホームページを作りたいと思っています。ご覧下さってのご意見や感想などもいただけたら嬉しいです。

さて、寒さで身体が凝り固まっていませんか？今年もヨガで心と身体の観察とメンテナンスをしていきます*くウッティタパールシュヴァコーナアーサナ（体側を伸ばすポーズ）>

日常的な動作では、体を横に伸ばすことはあまりないですね。普段伸ばさないわき腹や股関節をストレッチすることで、リンパの流れをよくすることができます。また、背骨や骨盤を整え、体幹と脚力の強化が望めます。さらに胸を開くことで呼吸を深くし、気持ちりが前向きになる効果があります。息が止まるほど強く伸ばすのはNG！

①両足を1mほど開き、前足の踵と後足の土踏まずを一直線にする ②前脚を深く曲げ、足首と膝が90度になるよう踏込む ③脚を曲げた方の手を足のすぐ外側につく ④胸を開きながら反対の手を斜め45度を目指し伸ばす ⑤手の平は下に向け、顔は手の平の方に向ける

後ろの伸ばしている方の脚は足裏が小指まで全部床につくようにします。辛い場合は床につく方の手の肘を曲げて膝の上に乗せたり、顔の向きを下にするなどして、気持ちよく体側を伸ばして深い呼吸ができる場所で5～10呼吸キープします。



理想的には、上の手が耳の後ろで伸び、顔がよく見えるまで胸が開くといいのですが… ↑